

受付番号： 2020-1-372

課題名：避難所アセスメントのデータを用いた、東日本大震災の避難所における物資・インフラが避難者の健康に与えた影響の検討

1. 研究の対象

2011年3月11日（東日本大震災発災）から同年7月までの間、石巻市に設置され定期的に医師による巡回を受けた避難所のうち、30名以上の避難者がいた38か所の避難所（12,643名の避難者）。

2. 研究期間

2020年7月（倫理委員会承認後）～2023年3月

3. 研究目的

大災害後の避難所における衛生や物資の状況が、避難者間における身体症状の有病率に与える影響を調査することで、災害後のより良い避難所のあり方を検討する。

4. 研究方法

アセスメントシートにより石巻市内の各避難所において2011年3月～4月に集計されたデータを用いて、水、食料、電気、暖房、毛布、上水、下水などの復旧具合と、同時期における避難所入所者間の身体症状の間の相関を、複数の時点で横断的に調査する。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

避難所ごとに、入所者数、水、食料、電気、暖房、毛布、上水、下水の復旧具合（いずれも0-3の4段階）、有症状者数（発熱、上気道症状、胃腸症状）を、発災後3つの期間に分けて調査する。

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織

本学単独研究

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

お問い合わせ先

研究責任者：東北大学病院総合地域医療教育支援部 教授 石井 正

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、
研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、
当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求
することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口と
なります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知ら
せ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開
室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧
ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合